

■■■ 2014. 10. 10. ■■■

■■■ JSAF メールマガジン 2014 年秋派遣 第3号

海外留学中最新情報をお届け！ ■■■

JSAF 派遣生のみなさん、こんにちは。

あっという間に10月に入りましたね。

9月後半に、アメリカクォーター制大学の派遣生、イギリス・ニュージーランド派遣生が出発し、無事派遣生全員が留学生生活をスタートしました。

現地では、紅葉シーズンが近づいてきた場所もあるでしょう。

日本では、10月8日、3年ぶりの皆既月食が見られ、秋の空を彩りました。

それぞれの場所で、日本と違った秋を楽しんでください。

JSAF メールマガジンをお送りしますので、必ず最後まで確認の上、ご返信ください。

※返信時には、件名もしくはメールの最後に必ず派遣先大学名と氏名を記載すること

※今までのバックナンバーは派遣生用ページにも載せています。

○●○ ○●○

今週の目次

■1■今週の定期連絡【返信期限：10月19日（日）】

□2□中間テストに向けて・教授に対する礼儀正しい話し方【学部履修生対象】英語試験対策【語学研修生対象】

■3■到着後確認事項（到着後間もない派遣生用/アメリカ・クォーター制大学派遣生、イギリス派遣生、ニュージーランド派遣生）

□4□休み期間中の報告の仕方について

■5■派遣生の皆さんからの近況報告紹介

└───●○○

■1■今週の定期連絡：10月19日（日）までに返信をお願いします

今回は、以下の内容を中心に近況をお知らせ下さい。

※返信時には、件名もしくはメールの最後に必ず派遣先大学名と氏名を記載して下さい。

1) 現地のお気に入りスポット

留学先でお気に入りの場所や風景はできましたか？

ベストショット1枚に簡単なコメントを添えてお送りください！

9月中旬または下旬に出発してまだ現地を散策中の方は、代わりに留学先の大学や授業雰囲気、滞在先の様子を教えてください。

良い写真は来年のJSAFパンフレットや大学紹介などに掲載します。ぜひ力作をお送りください。

2) 【学部履修の皆さん】

履修中の授業の雰囲気や授業内容について教えてください。

3) 【語学研修受講の皆さん】

学内でのITP試験又はTOEFL/IELTSの受験予約が必要です。

試験日程・スコアが発表された方は必ず報告してください（受験日、スコア結果、内訳の詳細含む）。

4) Prestige Study Abroad Program の派遣生は、下記について報告してください

- 1: 感銘を受けた教授について（授業内容・発言内容、それに対して感じたこと）
- 2: 在籍大学と派遣先大学の相違点（学生の雰囲気、授業の受け方、放課後の使い方など）
- 3: 大学キャンパスのベストショット、または学生生活が感じられるような写真を見せてください

もちろん、その他報告したいことがあれば、あわせて教えてください。



■2■ 中間テストに向けて・教授に対する礼儀正しい話し方

【学部履修生対象】

8月後半～9月上旬に秋学期がスタートした大学では、10月頃には中間テストがあるでしょう。

日本の大学のように一発逆転で良い成績を取ることはできませんので、中間試験に向けて、毎日の予習・復習が何より大切です。

分からないところは、早い段階で教授に質問するよう心掛けましょう。

こんなことを質問してもいいのかな…と考えている間に、授業が先に進んでついていけなくなってしまった! という事態に陥らないように、

今のうちに対策をしておくことが重要になります。

また、質問をすることで、皆さんのやる気や熱意を教授に伝えるきっかけを作ることでもあります。

疑問点をクリアした上でテストを受け、思うような結果が得られなくても、その場であきらめることなく、今後の勉強方法について教授に相談をしましょう。

追加の資料をくれたり、クラスメイトを紹介してもらえるかもしれません。

★教授に相談に行く際には、礼儀正しい態度で接することが第一です。

以下6点、守れていますか？ 教授に会いに行く前に、もう一度確認しましょう。

【How To Talk To Your Professor / Tips for a Successful Visit】

- ① Visit your professor during posted office hours or (better yet) schedule an appointment.
- ② If you're not sure how your professor prefers to be addressed, ask them.
- ③ If you make an appointment, show up on time.
- ④ Adopt the attitude that your professor wants to help you.
- ⑤ Visit your professor with specific things to discuss.
- ⑥ Be prepared for the meeting.

下記のPDFにて、上記6つのポイントを詳しく紹介しています。

「成績を上げてもらえるようお願いする場合」など、状況に応じた具体的なアドバイスも掲載されていますので、ぜひ

ひチェックしてください。

<出典：“How To Talk To Your Professor” By Academic Advising and Learning Center, Western Oregon University
>

<http://www.wou.edu/provost/aalc/learning/documents/HowToTalkToYourProfessor.pdf>

※出発前オリエンテーションでもお伝えしましたが、皆さんは個人留学ではなく、JSAFの派遣生として留学をしています。

日頃の勉強は大変ですが、その都度質問や必要な対策を行えば授業をサボらない限りFで単位を落とすことはないはずです。

学部授業では、B以上を目指しましょう。JSAF派遣生は最低でもC以上で単位をとることが義務付けられています。

【語学研修生対象】英語試験対策

語学研修クラスの課題・宿題以外に、英語試験対策の時間はしっかりと取れていますか。

語学研修はもちろん大切ですが、残り限られた時間の中で目標の英語試験スコアをクリアするためには、効率的な試験対策が求められます。

実際に、前期（1学期目）の試験対策を疎かにしていたため、なかなか目標のスコア・基準を達成することができず、数100ドルかけて別の都市に何回もTOEFLを受けに行った学生もいます。

直前になって焦らないよう、今月中には達成するつもりで、早めに試験対策に取り組みましょう。

TOEFL/IELTS対策の時間が十分に取れていないな、と感じる人は、ここでもう一度現地での過ごし方を見直してください。

後回しにしないためには、1日〇時間試験対策をする、と具体的なスケジュールを立てることから始めましょう。

また、下記サイトでも英語学習ができますので、参考にしてみてください。特に、リスニングはお勧めです。

- 1：まず聞く
- 2：スクリプトを見ながら聞く
- 3：聞き取れなかった箇所を確認
- 4：何も見ずに聞く

たくさん英語を聞くのは大切なのですが、わからないまま進んでもリスニング力は上がりません。

上記のように繰り返し内容を確認しながら進めると、聞きなれない単語やフレーズにも少しずつ耳が慣れていきます。ぜひやってみてくださいね。

【British Council 無料オンライン学習】

<http://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/learners>

※学部授業履修に必要な英語スコアや、学内での英語試験実施スケジュールは各大学によって異なります。

出発前にお送りした Important Information を参照してください。最新の校内 TOEFLITP 試験の日程は、現地語学学校にて確認してください。

日程が決まり次第、下記のように JSAF に連絡してください

語学研修最終成績では、オール A を目指しましょう。JSAF 派遣生は最低でも B 以上で全科目を修了することが義務付けられています。

※先日送信した【メールマガジン号外】も参考にしてください。



■3■到着後確認事項（到着後間もない学生用）

【JSAF2014 年秋派遣生専用 Web ページ】

JSAF 派遣生専用 Web ページには、ログインしましたか？

今後も留学に関する情報を更新していきますので、確認してください。

また、メールマガジンも掲載していきます。

<http://www.japanstudyabroad.org/secured.htm>

ログインの際に、ID とパスワードが必要です。

詳細は、出発前にお送りした Important Information をご確認ください。

【パスポート管理】

オリエンテーションや最終確認のお電話でも伝えましたが、パスポートは最も大切な書類です。

くれぐれも紛失しないように、今一度パスポートを含め貴重品の管理を徹底してください。

思っていたより安全そうでよかった、と気が緩んだ時が一番危険です。

外国にいるという危機感を常に忘れないで生活をするようにしてください。

【I-94 出入国記録のプリントアウト】※アメリカ派遣生対象

最終確認のお電話でも伝えましたが、留学生は、留学期間中、合法的にアメリカに滞在しているという証明として、I-94 の提示を求められる場面がいくつか考えられます。

そのような時に備えて、必ず米国税関・国境取締局 Customs and Border Protection (CBP) の下記サイトにアクセスし、ご自分の電子 I-94 記録をプリントアウトして手元に持っておきましょう。

<https://i94.cbp.dhs.gov/I94/request.html>

※現在のところ、陸路の場合は今まで通り、紙媒体となります。



■4■休み期間中の予定の報告について

学期中の休み（例：Thanksgiving）や学期間の休み（例：冬休み）の予定が決まった方は、必ず前もって JSAF まで下記のように報告をしてください。

①寮・ホームステイ先を離れる場合、その期間

②交通手段 ※飛行機やバスの便名・発着スケジュールなど、詳しく教えてください

【例】11/7 DL287 便 Portland 8:30AM 発 同日 16:00 PM JFK 着

③滞在先について（滞在先の名前・住所・連絡先）

④同伴者

⑤保護者の了承を得ているか

現地での生活に慣れてくると、徐々に危機感が薄れ、報告が遅くなる・不足していることが多発します。特に休み期間は、気が緩むときでもあるので、予想外のトラブルに巻き込まれてしまうこともあります。

「〇〇に行きます」「明日出発します」といった報告は適切ではありません。必ず上記5点を、遅くとも1ヶ月前までにはお知らせください。

なお、国外への旅行を検討している派遣生は、必ず渡航先の治安情報を外務省のサイト (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) から確認しておきましょう。

※アメリカ派遣生は、アメリカ国外へ出る際は、インターナショナルオフィスで入学許可書（I-20/DS2019）に必ず再入国のサインをもらう必要があります。これを忘れると再入国できませんので、くれぐれも気をつけてください。



■5■派遣生の皆さんからの近況報告紹介

前回の定期連絡の中から、秋派遣生の皆さんの近況を一部ご紹介します。

・わからない単語や会話文が出たときに、質問するととても分かりやすく一生懸命に私に分かるまで教えてくれるアメリカ人の男の子と友達になれたため、とても助かっている。彼も日本語をここで学んでいるため宿題を助けてあげたりしている。グローバルパートナーもとてもいい子で優しく、校内で会ったらすぐに声をかけてくれる。またせっかく外国人の友達と話す機会があっても、自分の能力がとても低くいいたいことが伝えられず悔しい思いばかりするため、どうにかして英語力をあげたいと考えている。

・ルームメイトとはうまくいっています。沈黙のほうが多いですが、お互い必要なことは言いますし、暇なときは世間話もします。

金曜の夜だけは帰ってくるのが遅いので、一人の時間を楽しんでいます^^ホストファミリーはいい方々です。テストなどでお誘いを断ることも多いですが、来月はおうちのディナーに行くことになっています！土日やランチ、ディナーなどは誘ってもらったり誘ったりして、頼れる友達をつくるように努力はしています…がなかなか難しい！！ひとまず目の前の勉強に集中して焦らずに生きていきます(笑)

・私のいる寮は留学生も多いので特にそう感じるのかもしれませんが、こっちは本当にいろんな人がいます。人種はもちろん、着る服や生活スタイル、喋り方、考え方…

私はもうすでに将来はこっちで暮らしたいと思うくらいにここでの生活があっているように感じます。もちろん、さみしく感じることも辛いこともたくさんあります。

ですが正直、ここにいる方が自分のアイデンティティを確立できるように感じます。とはいえ、日本は大好きで、世界に誇れる国だと思っているので、友達にも日本のことをたくさん説明できるように努力しています。

やっぱり日本は素晴らしい、と、1日に最低でも一回は思います。同時に、こんな素晴らしい国にいる素晴らしい日本

人なのに、なんで積極的に世界に発信する人が少ないのか、とも感じます。
日本の英語教育や留学制度はもっと身近で良いものになるべきだと思います。

・最近ルームメイト達よりも、クラスの友達と遊ぶ機会が多い気がします。
また、この前初めて以前から興味があった wine tasting の club に参加してみました。tasting とはいえ次から次へとグラスに注がれるので驚きましたが、wine に詳しい人から話を聞けたり隣の席の人と仲良くなったりと、勇気を出して一人で乗り込んでみて良かったと思いました。この付近にはやはり winery がたくさんあるので、近々友達と探ってみる予定です。
こっちへ来てから、何でも自分から行動に移す。ということを躊躇なくできるようになったと思います。

・こちらはすっかり秋の風が変わり、清々しい気候のなか元気に日々を送っています。報告書をかきましたのでお送り致します。
生活には慣れましたが、英語力の伸びに不安があります。授業での発言や友達作りなど、もう少し頑張らなければと思いつける気持ちですが、何事も楽しむ勢いで来週も頑張ります！

・クラスの国籍割合は 11 人がブラジル人、1 人がグアテマラ人、もう一人がメキシコ人、そして私の計 14 人です。クラスが 1 学期間変わることがないので、すごく仲良くなれそうです。
また、クラスに私以外の日本人がいないので、英語を使わなければ意志疎通できない状況です。これはとてもプラスになることだと思っています。
またブラジル人の多くが日本に高い関心を持っているので、日本語を教えたり、文化について話したりととても楽しいです。
課題は多すぎることはなく、毎日計画的に取り組みれば終わらせる程度です。先生方も面倒見がよく、毎日楽しく授業を受けています。

・ホームステイでは、最初はハウスメイトとうまくやっていけるか不安だったのですが、最近自分から話しかけて、どんなに小さなことでも自分の言葉で伝えるようにしています。
家に帰った時に” How are you?” や”How was your day?”と聞くことの大切さを日々実感しています。
また、アメリカ人の友達ができただので、毎週金曜日、英語を教えてもらっています。授業で習ったスラングやイディオムを実際に使ってみるよい機会なので、積極的に頑張ります！
毎日宿題が本当に多くて大変ですが、なるべく図書館で終わらせて家ではホストファミリーと話す時間をつくるようにしています。
また、この間のリーディングのクラスでは要約を先生にみんなの前で褒めてもらえました。これからも頑張ります！

・毎週 40 ページ近くのリーディングの予習をしなくてはならず、その上エッセイ等の課題が出た週は予定を上手く組まないといけない時間を作ることが出来ません。
授業への取り組み方としては積極的に手を挙げるようなことは出来てはいませんが近くの人に聞いたり授業後に直接質問をしています。

・ルームメイトとの生活にもだいぶ慣れ、お互いの生活スタイルや性格がわかってきたと感じています。
2 人いるうちの一人、スコットランドはグラスゴー大学から来ている学生は、健康的なベジタリアンで、規則正しい生活を送っています。
彼女はよく同じ大学からきた学生たちと行動しているように思います。今もこの 4 日間の連休で、共に旅行に出かけ

ていきました。

彼女とは特にスコットランドのアクセントにも慣れてきたためか、最近会話が弾むようになってきたように感じています。

他にもまだまだ素晴らしい報告があるのですが、今回はここまでにします。

徐々に慣れてきてできるようになってきたこと、反対にどんどん強く感じる自分の足りないこと。嬉しいことも辛いことも同時に経験してきくことで、皆さんがさらに成長していくものと思います。

自分の力で切り開いていくことも必要ですが、分からないこと・困ったことがあれば、教授、友人、クラスメイトなど、周りの人にアドバイスを求めることも非常に大切です。もちろん JSAF も皆さんを支えています。

今月は来月以上に学びの多い時間にしていきましょう！では、皆さんからの報告をお待ちしています。

※来週 10 月 13 日は祝日のため、オフィスはお休みとなります。定期報告への返信は 14 日以降になりますので、ご了承ください。

米国非営利教育財団 A. C. E. スタディアブロード部門

日本スタディ・アブロード・ファンデーション (J S A F)

JSAF サポート：吉岡/宮元/伊藤/尾崎

support@japanstudyabroad.org

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-4-15 三井生命高田馬場ビル 1F

TEL : 03-5287-2941

FAX : 03-5287-2943

web: www.japanstudyabroad.org

【お願い】 JSAF にご連絡の際は、件名に必ず「お名前 (留学先の学校名・在籍大学のお名前)」をお書きください。